

令和3年7月定例記者会見要旨(令和3年7月5日)

**1. 国からのワクチン供給量が当初の予定通りでなく、一部で混乱が生じているが、坂出市の接種スケジュールに影響はあるか。また現時点の接種は当初の予定通りか。**

高齢者のかたへの接種については、予定通り7月末までに完了する見込みであり、順調なペースで進んでいる。

しかし、64歳以下のかたへの接種については、国からのワクチン供給が7月以降に半減することが判明したため、本市の接種計画は大きな影響を受ける。

具体的には、6月の接種ペースは週約3,000回で、その接種ペースを維持すれば、すべての希望者への接種が11月末までかかる。これではインフルエンザの時期に重なるため、10月末までへと1カ月前倒しする計画を立て、週当たりの接種ペースを約1.5倍に引き上げるよう各医療機関の協力を取り付けたところであった。

その矢先に、国からのワクチン供給が7月以降に半減することが判明し、6月までの接種ペースを継続すると、7月は在庫で対応できるものの、8月以降は不足する見込みとなった。

そこで、残念ではあるものの、接種ペースを6月の週約3,000回のペースから、8月以降は、当面週約1,900回のペースに減らすこととした。

なお、11月末までに希望する国民全員に接種可能なワクチン量を供給するという国の考えは変わらないとのことである。そのため、本市ではワクチン供給量が増えた時点で、予約枠を上乗せし、接種ペースを再度早めていく予定である。

**2. 坂出市がホストタウンとなるハンガリーカヌースプリントチームの事前合宿日程が発表されたことについて、市長の所感は。また、東京2020オリンピック・パラリンピックに出場する市内在住の選手へメッセージをお願いしたい。**

東京オリンピック新体操個人総合への出場が決まった喜田選手、また、パラリンピックへの出場が決まった今井選手について、改めてお喜び申し上げます。両選手が出場することは、大変光栄であるとともに、私も市民の一人として大変誇りに感じているところである。

出場を勝ち取るまでには、さまざまな苦労があったと思われるが、その苦勞を乗り越えてきた姿に多くの方が勇気づけられ、感動を与えてきてくれたと思っている。大きな舞台にこれから望まれるが、市民のみならず国民に希望と感動を与えてくれるものより心より期待をしている。しっかり応援していきたい。

事前合宿の受け入れについては、これまで県とともに準備を進めてきたが、今回、日程等が決定したため、ご報告させていただいた。

ハンガリーはカヌースプリント競技において強豪であると聞いてはいたが、名簿を見ると本当にすべての選手がメダル候補なのだと感嘆するとともに、活躍を大いに期待するところである。

コロナ禍の合宿ということで、ハンガリーの選手と直接交流することが難しく、大変残念ではあるものの、受け入れにあたっては国から示された方針に基づいて感染症対策を徹底し、無事、東京に送り出せればと思っている。

また、オリンピックは選手にとって特別な大会であると思っており、最高のパフォーマンスを発揮できるような環境を提供したいと考えている。

### **3. 新たに選任された浦田副市長にどのようなことを期待しているか。**

現場の市役所の中で市政を担うとなれば、職員の能力を最大限に発揮してもらうことが、私の公約の実現のためには大きなポイントとなってくる。そういった状況で、市役所外から副市長を選任することは、私の公約を実現していく中で非常に時間と手間がかかる。

そこで、市役所に長く勤めた上で、要職を歴任した浦田氏が適任であるという思いに至った。結論として、私にとって余人に代えがたい人物である。浦田氏においては、市民グループとも懇意な人間関係を築き上げて活動をともにしており、そういった意味で、市民からの理解を得やすく、さらに、まちづくりにおいて柔軟な発想ができるという点から提案を行ったところである。

これから副市長に期待するのは、大いに実力を発揮していただき、サポートをしていただきたいという思いである。